

国語科 8年生 単元名『比較をしよう～走れメロス～』 授業実践・授業研修	
日時	11月11日(月)3時間目
授業者	山川 要
本時のねらい	構成や描写の仕方、表現の技法の特徴を捉え、作者が読者に伝えたかったことを考えることができる。
単元・題材計画	第1次 通読、内容把握……………2時間 第2次 人物関係、心情把握……………3時間 第3次 比較をする……………4時間(本時3/4)
授業の実際 (本時の流れ)	1シラーの「人質」、2アニメ版「走れメロス」、3太宰治の「走れメロス」の三つ作品に登場する「メロス」・「ディオニス(王様)」・「セリヌンティウス」の人物像を比較した。その後、太宰治の「走れメロス」においての作品の特徴を考え、作者である太宰治が読者に伝えたかったことを考察した。
事後協議の概要	三つの作品の人物像を比較することで、太宰治の「走れメロス」の特徴を考察し、作者が読者へ伝えたかったことを考えることができていた。各班での話し合いが活発にできていた。また、全体での発表、黑板への記入の際も、主体的に活動ができていたのでよかった。授業者の発問の工夫や働きかけにより、さらに生徒の考えを深めることができるのではないか。

